

令和6年 第4回 肝付町議会代表質問

順位	質問者	答弁者	用件（要旨）
1	総務・文教委員会 (前原 和幸)	町長 教育長	<p>1. 「肝付町ライフジャケット着用条例の制定」について</p> <p>(1) 9月定例会最終日において、私共、総務文教委員会より発委された「肝付町ライフジャケット着用条例が議決されました。この条例は、釣り人の安全確保と事故防止を推進し、生命を守ることを主な目的としたものです。この条例の制定に対し、町執行部の今後の取り組みと展開を質問いたします。</p> <p>① この条例が制定されたことを、町長はどのように受け止められているか。</p> <p>② 周知広報の手段として、町広報誌やホームページ、マスメディアの活用、看板、チラシの配布等様々な方法が考えられるが、その他にも考えられるか。</p> <p>③ 条例の趣旨を理解し、協力をいただくべき団体として町消防団、肝付警察署、志布志海上保安署、町内各漁業協同組合などがあるが、その他にも考えられるか。</p> <p>④ この条例には罰則等はないが、着用状況を調べる必要があるのではないかと考えるが、そのことについてはどう考えるか。</p> <p>⑤ 条例の制定により、釣り客の減少が懸念される。そのためにライフジャケットの無料貸し出しをしたら良いと考えるが、どう考えるか。</p> <p>⑥ 条例を定着させるためには、長期的な視点が必要であり、定期的に住民に対しアンケート調査を行うなどし、周知状況や、意識の変化を調べる必要があると考えるが、そのことについてどう考えるか。</p> <p>⑦ 教育現場において着用の促進を図るために、水泳の授業などに組み入れられたら良いと考えるが、可能か。</p> <p>⑧ 本町の美しい自然や独自の文化とともに、条例を制定した町として町内外にPRするとより魅力的なメッセージとして伝わるのではないかと考える。どう考えるか。</p>